

神奈川ウォーキング参加 H25-07

関東ふれあいの道・かながわ

荒崎・潮騒のみち

日時：平成25年9月14日（土）

集合：京急三崎口駅 10:00

コース：三崎口駅→【矢作入口バス停】→円徳寺→和田長浜海岸→佃嵐崎→栗谷浜漁港→荒崎の弁天島→荒崎公園→どんどんびぎ→荒崎バス停→熊野神社→長井漁港→富浦公園→荒崎入口交差点→自衛隊武山駐屯地→【少年工科学校バス停】＜解散＞→逗子駅・横須賀駅・三崎口駅

参加者：吉越L・関根SL・藤崎（班長）・平野（班長）・奈良弘・鈴木淳・伊藤真・濱崎信・濱崎和・内田成
 ・内田絵・高橋文・熊島・新谷・小野里・平山・神谷・熊坂・青松秀・平石一・山内・小林
 ・佐藤秀・西行・清水・落合・勅使河原・中村・関水・白井（一般） 合計30人

天候：曇り時々晴れ



完了 今回
【関東ふれあいの道・かながわ】
 ウォーキング実績

回	月日	曜日	コースNO	コース名	km
1	5月25日	土	5	稲村ヶ崎・磯づたいのみち	6, 2
			6	湘南海岸・砂丘のみち	10, 2
2	6月27日	木	7	大磯・高麗山のみち	7, 6
3	7月15日	月(海の日)	1	三浦・岩礁のみち	10, 3
4	9月14日	土	3	荒磯・潮騒のみち	7, 7

猛暑中ゴルフを含め、他の行事が少なく7・8月は良く参加しましたが、9月秋口入りを期待してか、ゴルフ旅行を含め行事が続く中で空いており参加。台風の前日で、三崎口駅に向かう電車の窓に小雨が降り始めたが、駅に到着すると止みOK。起点は【矢作入口バス停】ですが、三崎口駅からバスに乗らず歩き、KWCは甘くは有りません、厳しいですぞ！ 地元吉越Lのガイドでスタート。

集合：京急三崎口駅



若宮神社：道路に面した木製の鳥居をくぐり、仁徳皇太子が祭神で初声小学校と繋がっている。



相撲土俵↓が有り、通常はシートが被せてある。↑平野さんによるストレッチ。↓吉越Lのコース説明と紹介



潮風アリーナ：ロッククライミングウォール。↓本番の岩山より険しそう。



【荒崎・潮騒のみち】

起点の「矢作入口バス停」三崎口駅



からここまで3,700歩、2,4km歩きました。



円徳寺↓の前を通ると浜に出る。いよいよ磯浜



長浜海岸：風は殆どなし。蒸し暑い。柔い砂浜歩きはきつい。透き通った海水の波打ち際を靴のまま歩く日さん、この辺りは地面も硬く、楽ちんの様で気持ち良さそう。やはり靴脱ぎ歩きにトライすべきであったか・・・？



今日は3連休最初の土曜日、若者↓や子供たちボート遊びや魚釣り。綺麗な小魚の写真を撮らせて戴きました。



和田長浜海岸↓から佃嵐崎に向かう



中間の岩礁のきれいな磯辺で、↓早めの昼食：11：40～12：10 三崎口駅から7,000歩歩きましたが、砂浜歩きで皆さんお疲れのようでした。



太平洋プレート上の火山堆積物が、約50万年前に、海綿状に地殻変動して隆起してできた奇岩の数々。↑P3

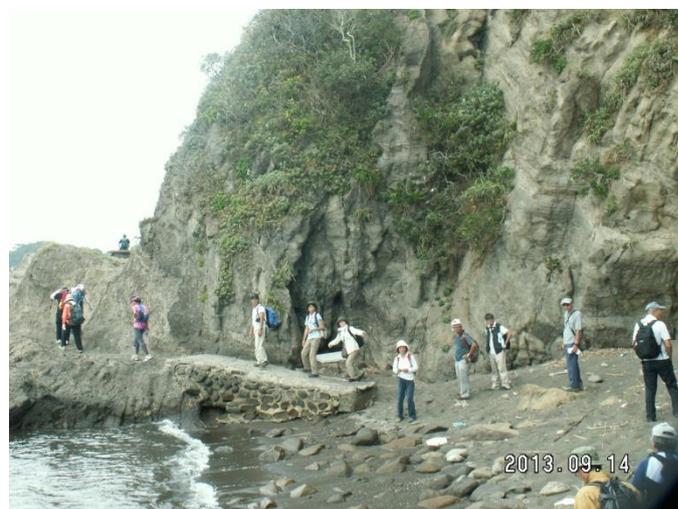


昼食後岩礁を散策。カニの巣を見つけました。↑10匹前後の家族、岩礁の自然の穴をうまく利用しております。

【関東ふれあいの道・神奈川】17コースの証明写真と感想文について、奈良さんの説明。↓ここでのポーズ入り集合写真暗くて、吉越さんからの写真をお借りしました。



相当な高さのある断層を飛びおりる、↓ラストを占めるTさん、↓その光景を心配そうに見守る皆さん。



ハマカンゾウが岩壁に綺麗に、乙女のように可憐な笑顔で歓迎してくれました。有難う。



佃嵐崎に着くと、急階段を上るが、↓海岸を靴を脱いで近道のKさん。(吉越さん写真合成) ↓美味しい湧き水。



シラス・タコの売り場：タコは1匹冷凍してあり、買わず。シラス干棚↓ ↓ここから急階段を上り、弁天島



↓サスペンスドラマ撮影ロケ地場所の白い建物を見て下る。



鎖を頼りに進む、スリル満点。↑満潮時や波が高いときは大変。通行止めも有るようです。

弁天島が見えてきました。



佃嵐崎側からの全景写真↑と十文字洞窟側からの写真↓ (H2 2/4) をご覧下さい。



平成22年4月29～30日三女誕生祝いに、この崖淵の上に有る「さがみや」に泊まり、海岸の見えるヒノキ風呂に入り、夜は花火を見て美味しい地魚料理を食べ、翌朝孫を連れて散歩した時が思い出されました。今回人物集合写真撮りに追われ、良

い風景写真なくその時の写真↑二枚を参考までに載せました。



↓一番眺めが良く、順光の見晴台側から弁天島を背景に3班に分けて撮りました。



↓この十文字洞窟を過ぎると「荒磯公園」に出る。



どんだんびき↓を覗きに行きました



荒崎公園で休憩：13：20

11,000歩

←荒崎波状岩の出来た歴史を学習されたし。

荒崎の奇勝と歴史

このあたりの海岸の岩石は、数千万年前、また三浦半島が海底であった頃に堆積した黒くて硬い凝灰岩と、白くて軟らかい砂岩・泥岩の層により形成されています。

またこの二種類の岩石の層は洗濯板のような凸凹をした特殊な地形となっています。これは、岩石の硬軟の差により起こる水や風などの外的な力による差別侵食ばかりでなく、水分を吸収して膨張収縮しやすい砂岩・泥岩層が、水分を吸いにくい凝灰岩層との間で長い年月をかけて変化してきたためと考えられています。

右手にある海中に突き出した小高い岩山は城山と呼ばれ、頂上にわずかの平地を残し周囲は絶壁となっています。

かつてここは、鎌倉幕府創設に貢献のあった三浦一党の荒次郎義澄の居城跡といわれています。また幕末の頃には幕府の命により彦根藩が台場を築いた所でもあります。

ここから長浜に出るシーサイドハイキングコースの終点に近い山腹には、古代の下級豪族の墓である横穴古墳群があり、昭和三十三年に横須賀市博物館が発掘調査をしたところ人骨や副葬品と思われる土器や金属器などが多数出土しました。このことは当時、この近くにかなり大きな集落があったことを物語り古代から生活するのに適した所であったことが想像できます。

潮騒が快いこの海岸からは、相模湾越しに右手から丹沢山塊、箱根連山、霊峰富士、伊豆半島、大島と遠望することができ、特にあかねに染った夕景は、筆舌に尽くしがたい美しさです。

荒崎バス停：13：45

12,000歩

熊野神社に参拝し長井漁港へ道路を歩く



↑お清め手洗い水は気持ち良い



横須賀市指定民俗文化財

長井町 船屋踊り

昭和四十九年六月一日指定

長井町の新宿地区に江戸時代末期ごろ安房上総より伝えられたという踊りである。この踊りは、粉屋踊り、万作踊りとも呼ばれ、かつては関東一円にあったといわれ、頭に丸い板台を乗せ、太鼓を叩きながら面白おかしく船を売っていた船売りのしぐさを、地域の人が自分たちの踊りに採り入れたものといわれている。

踊りは、若衆によって演じられるのが一般的で、地域の祭礼や祝いの事にたびに幾晩にもわたって演じられていたが、戦後一時期途絶え昭和四十八年頃から小中学生の女子が踊り手になり復活した。お年寄りののはやしに合わせ、手に傘を持ったあねさんかぶりの少女たちが演じる素朴な郷土芸能である。

踊りには手踊り(みんながそろいの手振りして踊る)と段物(せりふが入り物語風の踊り)の二種類あり、演目は「ねねこ踊り」「白拵粉屋」など二十種類あり

平成四年三月

横須賀市教育委員会

長井の道切↓：藁刀・蛇・サイコロの飾りが3ヶ村境に飾ってある。



長井漁港で休憩、アフターウォーク予約。漁船漁師さんから「今荷降ろし作業中ですぞ！」と御叱りを受ける。

↓ウミネコが餌を狙っている。

↓魚を撮る網。



富浦公園：14：40 17,000歩

ここで平野さんによるクールダウン



自衛隊武山駐屯地、少年工科学校バス停【終点】 到着15：00 伊藤計測18,000歩 11,7km
公表16,500歩 10,7km



アフターウォーク in 「沖次郎」 17：30～
チラシ寿司
天ぷら
生ビール
芋&麦焼酎



逗子
駅・三崎
口駅行
きバス
を待つ

間、暇つぶしの写真↓ 夕焼け&半月 台風前の静けさか・・・？



吉越L・関根SLさん座席もくじ引きで、どなたの傍に座るかは？復活再入会の西行さん、最近入会の清水、関水さんの紹介を含め美味しく、腹いっぱい食べ、飲みました。幹事役御苦労様でした。

編集後記：【関東ふれあいのみち】三浦半島海岸ウォークは後2ヶ所になりましたが、夏の磯歩き流石に今年の猛暑は厳しい。今回小島レポーターが不参加で、いつものボケ防止用日記帳に、人物を入れなければならず、少々多忙で、誤記や失礼な記述有るかもしれませんが悪しからず。